

「どんたく」 J F 1 A U M /mm 檜崎さんの訃報をお聞きして

先日父島の和子さんよりメールが入り、函館の滝野さん（J A 8 E G S）から檜崎さんの訃報が伝えられたお話をお聞きしました。

数年前から、夕方「ドンタクネット」が開設されましたが、この頃檜崎さんは既にヨットを下りていらしたので檜崎さんご自身が「ドンタクネット」に参加することも無く、新しい方々は「ドンタクネット」の名前の由来、又、檜崎さんのお人柄について知らない方も結構いらっしゃるのでは無いかと思いいろいろな思い出をお話しさせて頂きたいと思います。



ヨットの中での一時

長年ヨットのサポートに関わってきましたが、その航海、目的のスタイルは様々でした。長年掛けてゆっくり世界を回り、沢山の人々とのふれあい、経験を目的とする人（お付き合い頂いた中で最も長い方は6年掛けてその航海を楽しまれました。）又、様々な記録に挑戦される方（ヨットレース、長距離航海 地球の東回り、西回り世界一周、最高齢、最年少の記録・・・）太平洋横断などはいとも簡単に沢山の方々が挑戦しました。



網走港にて

その様な中で「どんたく」檜崎さんの航海は一寸変わっていました。日本の北から南まで日本を一周する最多記録の保持者です。港、港に沢山の友人が出来、毎回、檜崎さんが訪れるのを楽しみにしていました。この航海も難しいものがあります。日本近海では定置網などの漁網があちこちに張られているため、その航海にはかなりの注意力が必要です。又、ヨットの受け入れがきちんとしているハーバーの他、一般の漁港へ入港しなければならないケースも多いので慣れるのに大変だったのでは無いかと思えます。

檜崎さんご夫妻と初めてお会いしたのは今から30年くらい前かと思えます。「どんたく」が網走港に入港した時お目にかかりました。この時、生まれて初めてヨットに乗せて頂きましたが、狭い空間はきちんと整理されていて、ヨットの内部の仕組みについて納得しました。

ヨットの岸壁への係留の仕方にも色々あります。岸壁と平行に係留するのは「横付け」、直角に係留するのは「槍付け、先付け」と話して下さいました。生憎この時は直角に係留されていたので、岸壁と、ヨット間の1メートルほどの空間の海を飛び越えるのが怖かったです。檜崎さんご夫妻はいとも簡単に身軽に飛び移っていましたが・・・初めてお会いした時の写真を何枚か掲載したいと思います。

この時はヨットを網走港に係留し、お二人で我が家いらして1泊され、翌日は車で能取岬、網走流水館・・・



網走流水館にて

等をご案内しました。日本1周を何度も繰り返していたのでその後も何回かお会いしています。

シーガルネットの祝賀会には毎回ご夫妻で参加して下さいましたが 2014、6、21 に行われたシーガルネット 35 年の集いの時はかなり体力が落ちているようにお見受けしました。

榊崎さんが私に掛けた言葉は「原田さん、歩かなければ歩けなくなるよ。普段から歩く事を心掛けなさい。」という言葉でした。この時のコメントにヨットを離れて 3 年半という言葉がありましたのでヨットを離れてから現在に至る迄およそ 10 年の歳月が流れていたと思います。

35 年の祝賀会での写真も何枚か掲載致します。



乾杯の音頭（シーガルネット 35 年周年）

長い刻の流れの中、強く心に残る沢山のヨットが思い出されますが、榊崎さんもそのお一人です。寂しくなりますね。

心よりご夫妻の業績を称え、ご冥福をお祈り致します。



榊崎夫妻と JA8EGS（滝野氏）

2021, 10, 20

JH8XIX & JH8XIZ
原田 重美 & 原田 栄子
Email: jh8xixiz@gmail.com